

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03□5842□6031 FAX:03□5842□6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年2月4日 No.29 NPTまであと89日

「署名取り始めたら楽しくなった」

2010年九州・沖縄ブロック原水協学校開催—佐賀



講演する土田事務局次長(1月30日)

九州・沖縄ブロック原水協学校が1月30・31両日、佐賀市「龍登園」にて行われ、九州・沖縄各県より75人が参加しました。

土田弥生日本原水協事務局次長が「核兵器のない世界へ＝チャンスを実現に実らせよう」と題して記念講演。今日の情勢をつくりだした21世紀最初の10年間の運動、核兵器をめぐる現状にふれ、「核抑止論」とのたたかひの重要性を強調しました。各県原水協から報告が行われ、都城市長、市議会議員等6氏がよびかけ人となり、全市民ぐるみの署名運動で6万3200筆がよせられた(宮崎)、名護市長選挙のたたかひ、普天間基地をめぐるたたかひについて(沖縄)、熊本、福岡、佐賀からも署名運動の経験が報告されました。

長崎からは、友人・知人に手紙で協力をよびかけ820筆を集めた経験などNPT代表7人から署名のとりくみが報告されました。

全教育委員が署名、市内3か所の成人式会場で行動—栃木・下野市

「非核平和をすすめる下野市の会」は1月10日、市内3か所で行われた成人式会場で「20歳のみなさんと、核兵器のない世界をつくろう」と呼びかけたチラシを配りながら署名にとりくみました。チラシには市非核平和都市宣言文、核不拡散条約(NPT)のことなどが載っています。行動に先立ち、会長と事務局長が教育委員会を訪問し、教育長に署名活動を要請。教育長は署名もしてくれ、教育課の職員にも署名簿を回してくれることになりました。当日は13人が参加し、113筆の署名が寄せられました。教育委員会から机とイスの提供もありました。

今回の行動に参加したメンバーの一人が、自分の自治会の会長に署名用紙の回覧をお願いしたところ了解され、さらに1月の役員会でその人が趣旨説明をしたこともあり、2つの自治会で各班長に署名用紙が配布され、自治会として活動することになりました。

2007年から続けてきた「原爆と人間」展実行委員会メンバーが中心となり昨年3月に結成された会は、「下野市が制定した非核平和都市宣言に賛同し、広島・長崎の原爆の実相を知らせ、核兵器の廃絶を求めて行動すること」を目的に掲げ、市の生涯学習を担うボランティア団体に登録されています。また、市の広報紙に活動が3回取り上げられ、昨年12月号には「核兵器のない世界を実現しよう！署名をまだまだ集めます」の見出しで運動が紹介されました。会では目標の6千筆達成にむけてさらなる奮闘を誓っています。

「核兵器廃絶に反対する人は誰もいない」県知事賛同署名—香川

香川県原水協は2月2日、全県キャラバンをスタートさせました。NPT代表団3人と矢野巖香川県原水協代表理事など8人が香川県庁を訪問すると、応対した和田光弘秘書課長は「核兵器廃絶に反対する人は誰もいないのではないですか」と前もって預かっていた知事の署名を手渡してくれました。

全県キャラバンは10日までの日程で県下全自治体を訪問して首長・議長署名を訴えることにしています。すでに綾宏坂出市長、藤井賢綾川町長、濱田孝夫直島町長、鶴見正さぬき市議会議員、古市弘三木町議会議員から賛同署名が寄せられています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。